

平成24年度
第2回 区政モニターアンケート
調査報告書

《 足立区の情報化に関する意識調査 》

平成25年1月

 足立区政策経営部広報室区政情報課

第1章 調査の概要

1 調査の概要	1
2 調査の目的	1
3 調査の時期	1
4 対象者数、回答者数	1
5 調査方法	1
6 回答者の構成	1
7 調査結果・分析の見方	2

第2章 調査結果の分析

(1) 所有している情報機器	3
(2) 購入予定の情報機器	4
(3) インターネットの利用状況	4
(4) インターネットを利用しない理由	5
(5) インターネットを利用する際に使用する情報機器	5
(6) 自宅で契約(利用)しているインターネット回線	6
(7) 自宅外でインターネット回線を利用する頻度	7
(8) 利用しているソーシャルメディア	8
(9) 行政サービスで情報発信に特に力を入れてほしい分野	9
(10) 情報化が担うべき役割と特に進めて欲しいと思うこと(自由回答)	12
(11) アンケートの有効性	14
使用した調査票	15

第3章 アンケート集計結果に関する所管意見 21

第1章 調査の概要

1 調査の概要

この報告書は、平成24年度第2回区政モニターアンケート「足立区の情報化に関する意識調査」をまとめたものです。

2 調査の目的

区では、電子自治体化を推進するため、今後の目的や方向性を示した「足立区電子自治体推進計画」を平成21年度に策定し、平成22年度から平成24年度を計画期間として、区民の皆様の生活の一層の利便性向上を目指して計画を推進してきました。

本年度、現計画の計画期間の終了にともない、昨今の社会環境変化や地域の絆づくりなどへの対応を目的に、次期計画の策定を予定しております。

今回、区政モニターの皆様のご意見を次期計画の策定に活用させていただくことを目的とするため、調査を実施しました。

3 調査の時期

平成24年10月19日（金）～10月31日（水）

4 対象者数、回答者数

対象者 194人 回答者 171人（回答率88.1%）

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

・郵便 91人 ・インターネット 80人

6 回答者の構成

（1）地域ブロック別・性別・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	13	15	2	3	5	1	2	3	3	2	5	4	9	13
インターネット	3	6	9	1	3	4	2	1	3	6	9	15	3	5	8
合計	5	19	24	3	6	9	3	3	6	9	11	20	7	14	21

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	4	10	14	0	4	4	1	4	5	0	1	1	0	8	8
インターネット	4	10	14	1	2	3	2	2	4	2	2	4	4	3	7
合計	8	20	28	1	6	7	3	6	9	2	3	5	4	11	15

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	4	1	5	0	5	5	1	7	8	22	69	91
インターネット	0	2	2	2	0	2	1	4	5	31	49	80
合計	4	3	7	2	5	7	2	11	13	53	118	171

(2) 年代別・性別・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	0	10	10	3	26	29	6	18	24	6	3	9	4	6	10
インターネット	3	2	5	9	20	29	11	18	29	3	7	10	5	2	7
合計	3	12	15	12	46	58	17	36	53	9	10	19	9	8	17

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	6	9	0	0	0	22	69	91
インターネット	0	0	0	0	0	0	31	49	80
合計	3	6	9	0	0	0	53	118	171

(3) 職業別・性別・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	4	5	0	2	2	1	5	6	0	45	45	14	8	22
インターネット	0	5	5	1	0	1	6	0	6	0	29	29	16	12	28
合計	1	9	10	1	2	3	7	5	12	0	74	74	30	20	50

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	6	5	11	22	69	91
インターネット	8	3	11	31	49	80
合計	14	8	22	53	118	171

7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たない、または上回る場合があります。

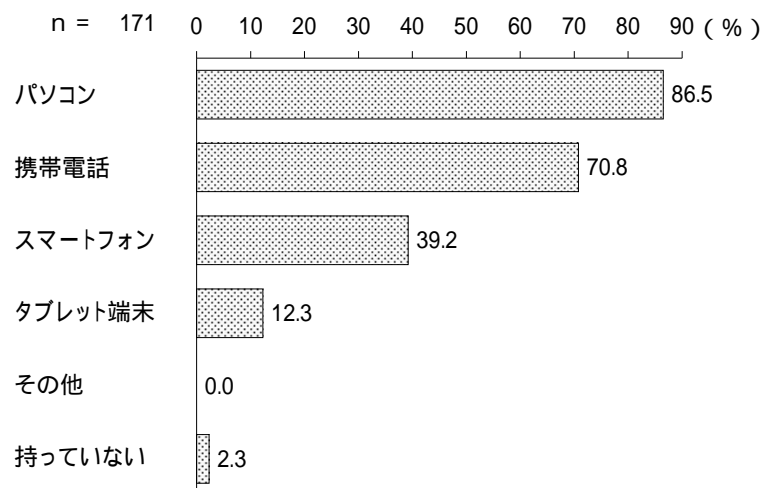
また、記述意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しています。

第2章 調査結果の分析

(1) 所有している情報機器

問1 あなたは次の情報機器を持っていますか。(該当するもの全てに)

「パソコン」(86.5%)が9割近くと最も高くなっている。次いで「携帯電話」(70.8%)、「スマートフォン」(39.2%)、「タブレット端末」(12.3%)と続いている。また、「持っていない」(2.3%)はわずかとなっている。



【用語の解説】

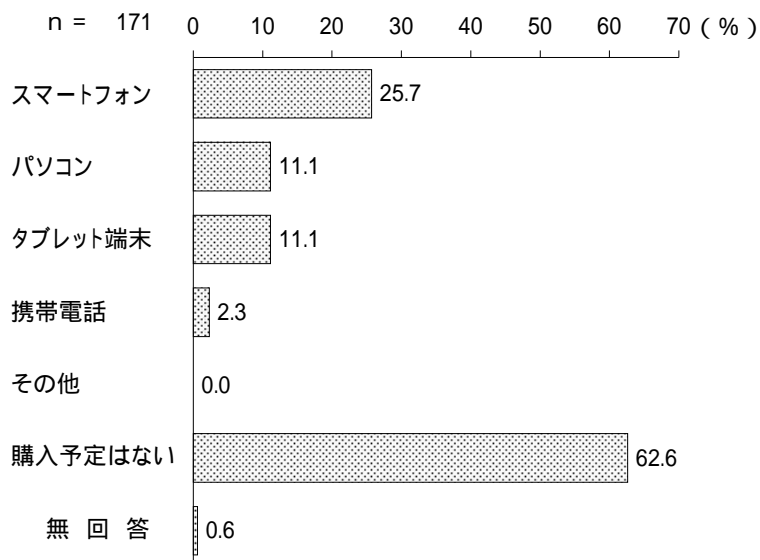
タブレット端末 : タッチパネル式ディスプレイで、携帯可能なパソコン(iPad、GALAXY TAB など)

スマートフォン : パソコンのようなデータ処理機能を持った携帯電話 (iPhone、GALAXY、XPERIA など)

(2) 購入予定の情報機器

問 1 - 1 次の情報機器で購入予定の物がありますか。(該当するもの全てに)

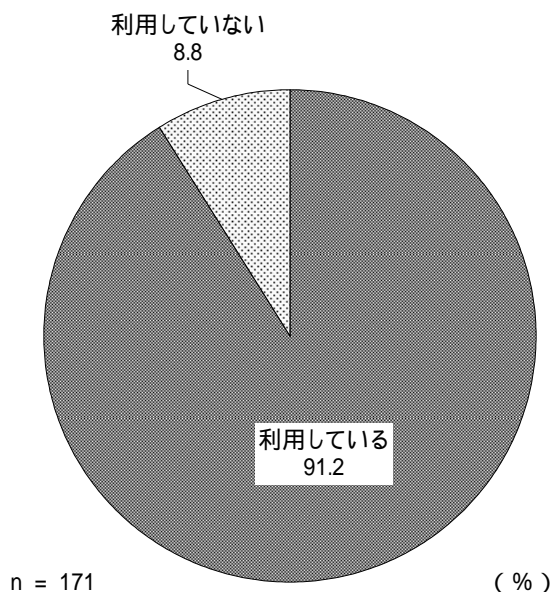
「スマートフォン」(25.7%)が2割半ばと最も高くなっている。次いで「パソコン」と「タブレット端末」(ともに11.1%)、「携帯電話」(2.3%)と続いている。また、「購入予定はない」(62.6%)は6割を超えている。



(3) インターネットの利用状況

問 2 あなたは、インターネットを利用していますか。(は1つだけ)

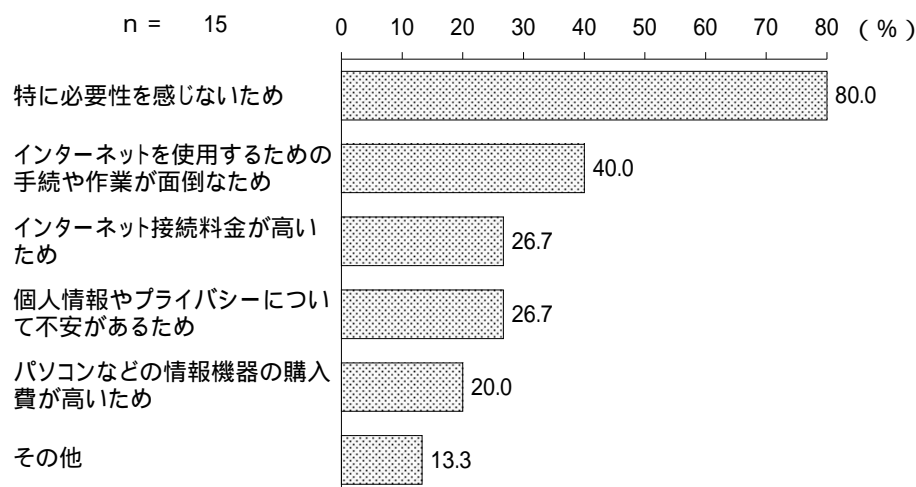
「利用している」(91.2%)は9割を超えている。一方、「利用していない」(8.8%)は1割未満となっている。



(4) インターネットを利用しない理由

問3 問2の回答で「利用していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが、インターネットを利用しない理由についてお尋ねします。(該当するもの全てに)

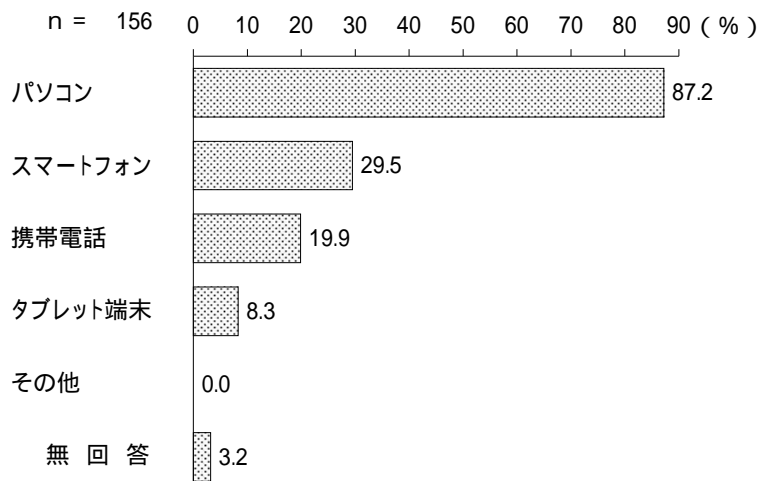
「特に必要性を感じないため」(80.0%)が8割と最も高くなっている。次いで「インターネットを使用するための手続や作業が面倒なため」(40.0%)、「インターネット接続料金が高いため」と「個人情報やプライバシーについて不安があるため」(ともに26.7%)、「パソコンなどの情報機器の購入費が高いため」(20.0%)と続いている。また、「その他」(2件)の内容としては、「機械についていけない」、「利用したい時は隣家の息子宅でやっている」となっている。



(5) インターネットを利用する際に使用する情報機器

問4 問2の回答で「利用している」と回答された方にお尋ねします。あなたが、インターネットを利用する際、主に使用する情報機器についてお尋ねします。(該当するもの全てに)

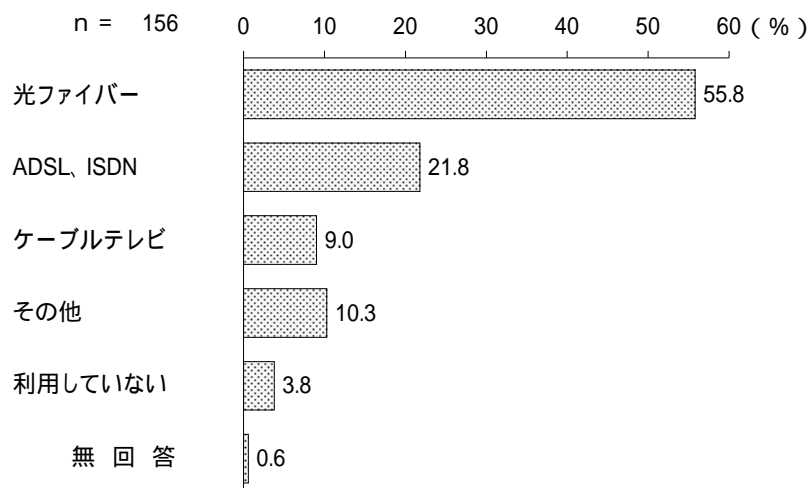
「パソコン」(87.2%)が9割近くと最も高くなっている。次いで「スマートフォン」(29.5%)、「携帯電話」(19.9%)、「タブレット端末」(8.3%)と続いている。



(6) 自宅で契約(利用)しているインターネット回線

問5 問2の回答で「利用している」と回答された方にお尋ねします。自宅で次のうちのインターネット回線を契約(利用)していますか。(該当するもの全てに)

「光ファイバー」(55.8%)が5割半ばと最も高くなっている。次いで「ADSL、ISDN」(21.8%)、「ケーブルテレビ」(9.0%)と続いている。また、「利用していない」(3.8%)はわずかとなっている。



【用語の解説】

光ファイバー：光通信回線を使った常時接続のインターネット接続サービス

A D S L：総合デジタル通信網の一般略称

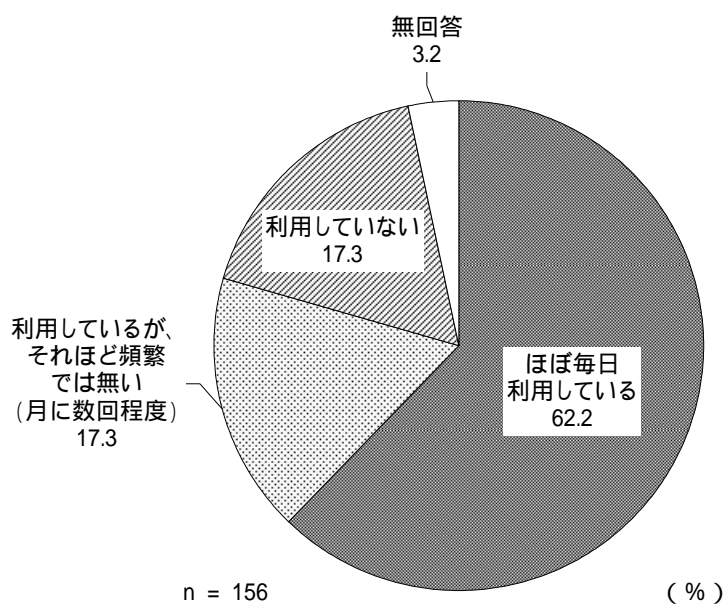
I S D N：電話回線を使った常時接続のインターネット接続サービス

ケーブルテレビ：ケーブルテレビ回線を使った常時接続のインターネット接続サービス

(7) 自宅外でインターネット回線を利用する頻度

問5 - 1 問2の回答で「利用している」と回答された方にお尋ねします。自宅外でインターネット回線を利用する頻度についてお尋ねします。(は1つだけ)

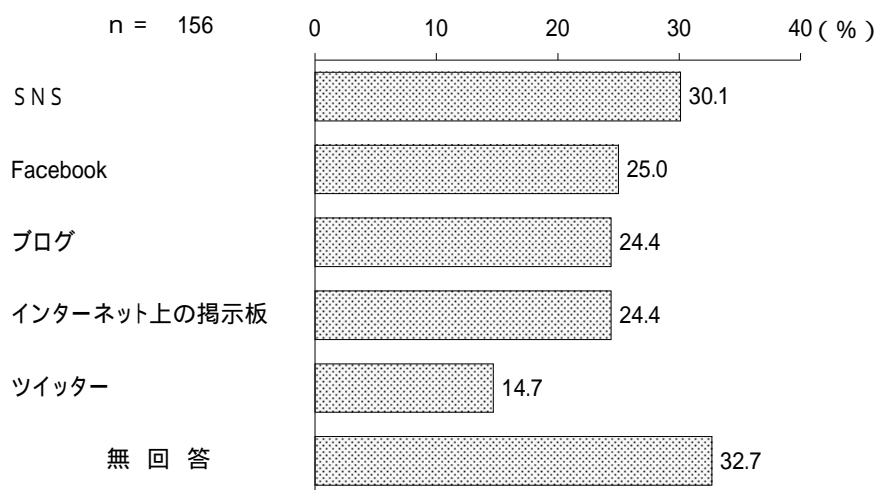
「ほぼ毎日利用している」(62.2%) が6割を超えている。「利用しているが、それほど頻繁では無い(月に数回程度)」と「利用していない」(ともに17.3%) は2割近くとなっている。



(8) 利用しているソーシャルメディア

問6 問2の回答で「利用している」と回答された方にお尋ねします。ソーシャルメディアについて現在利用しているものはありますか。(該当するもの全てに)

「SNS」(30.1%)が3割と最も高くなっている。次いで「Facebook」(25.0%)、「ブログ」と「インターネット上の掲示板」(ともに24.4%)、「ツイッター」(14.7%)と続いている。



【用語の解説】

ソーシャルメディア

ウェブ上で提供されるサービスのうち、利用者の積極的な参加によって成り立つコミュニケーションサービスのこと

SNS

ミクシィのようなソーシャルネットワーキングサイトのこと

人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のサービス。参加者からの紹介で入会できる仕組みになっていることが多い

ブログ

日々の生活記録(日記)のように、Web上に記録を更新していくウェブサイトの一種

ツイッター

一度に140文字まで短文投稿できるコミュニケーションや情報共有が可能な、無料のウェブサービス

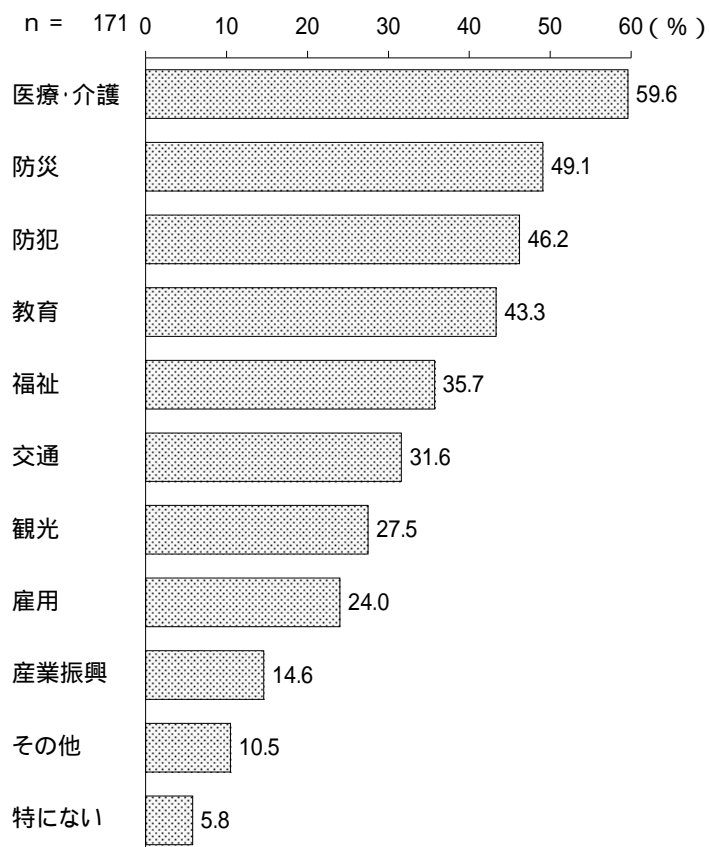
Facebook

Facebook(フェイスブック)は、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)のひとつ。他のSNSとの違いは、Facebookを介して関わる相手は、実名で呼び合う、実際につながりのある現実の人間関係を深め合うことが期待されている

(9) 行政サービスで情報発信に特に力を入れてほしい分野

問7 あなたが行政サービスにおいて「情報発信に特に力を入れてほしい分野」はどれですか。(該当するもの全てに 。具体的にある場合はカッコの中に記入してください。)

「医療・介護」(59.6%)が6割と最も高くなっている。次いで「防災」(49.1%)、「防犯」(46.2%)、「教育」(43.3%)、「福祉」(35.7%)などと続いている。



具体的記述

医療・介護 59件

主なご意見

女性や子供が受けることができる医療サービスの案内。

医療保険等について。

1歳の子供を育てているので、子供に特化した内容に力を入れて欲しいです。

区内医療機関の休日・夜間診療、専門医師の在不在、相談窓口について。

子供の予防接種や流行している病気など。

夜間、救急の病院の受け入れ。

区内の医療機関情報。(住所、連絡先、診療科、診療時間など。外部リンク含む)

防災 41件

主なご意見

防災教育及び防災拠点に関する情報。(避難所、給水施設等)

区の防災体制、連絡網、災害時のアドバイス

震災対策。想定外の地震による河川の氾濫や建物の耐震。小道や渋滞で消防車など入れないことを想定した対策・消防や救急の設置場所などの報告。

地震などが起きた時の災害情報。

災害時の区内における被災状況など。

防犯 40件

主なご意見

犯罪発生早期情報提供(日時、場所、犯罪内容)及びその後の捜査状況。(逮捕、指名手配、情報要求等)

ひったくり等の軽犯罪がどの地域でどのくらい発生している等の注意情報を定期的(週一程度)、メールで知らせて注意喚起をしてほしい。

不審者やひったくりなどの情報を常に発信して、足立区は防犯意識が高い地区だという印象を作り犯罪抑止につなげる。

子供に対する被害が心配なので、不審者が出た場合、どの地域に、どの時間帯に現れたのかが、リアルタイムで知りたい。

高齢者をねらう犯罪をより解りやすく伝えてあげてほしい。

交通 32件

主なご意見

環七、四号線の渋滞情報。

バス停の位置や時刻表、わかりやすい路線図など。

タクシー、バス、電車など、様々な方向で街の情報があればと思う。

もっと見やすい時刻表、遅延情報、混雑情報。

教育 31件

主なご意見

児童館、学童、各学校における公開イベントやおまつりなど。

子供に対する講座やレッスン及び、生涯学習の場など、もっと積極的に広報してほしい。

幼稚園や小学校のそれぞれの違いや料金などわかりやすくして、選びやすくして欲しい。

区立小中学の学校選択制度の最新情報。その他教育関係の足立区の取り組み最新情報。

各学校の特色など教えてほしい

福祉 24件

主なご意見

児童館や保健センターなどでのイベント、企画。児童館の0歳、1歳児向けなど、クラブの日程が常時確認できるようにしてほしい。

障がいに関すること。

高齢者の安否確認など1人世帯の為の情報。

福祉サービスの機関の情報やそれぞれの詳細な内容をネットで紹介すればよいと思う。

雇用 21件

主なご意見

就労機会の提供。

内職を希望しているので、もっと情報を増やしてほしいと思っています。小さい子がいても働きたいと思っているので、仕事を探す上でのママ向けの情報などが欲しいです。

出産を機に仕事を辞めた人の再雇用の情報をもっと発信していただきたい。

子育てママの中でもパートのような短い時間でも仕事をしたいと思っている人はたくさんいるので、そのような情報の発信。(住んでいる地域の近くで仕事のニーズがあること)

観光 19件

主なご意見

足立区の魅力、季節のイベントに関する広報。桜開花情報。歴史的な建造物、歴史的な道(日光街道、大師道)の案内など。

区内の観光案内やイベントを、もっと宣伝していくべきだと思う。意外に区民でも知らないことが多く、どこで情報を仕入れて良いのかがわからない。

足立区内の魅力ある場所・イベントの情報。

産業振興 7件

主なご意見

起業・知的財産関連情報など産業振興に関わる啓蒙活動の情報提供・講演会の案内など。

企業の事業内容、取り組み(開発)情報。

足立区の産業を紹介してほしい。

その他 18件

主なご意見

スポーツ関連のイベント、区内のサークル活動。

若い男女の婚活促進。

政策の決定過程や会議の参加者、発言などの記録。

高齢者の生きがいづくり、地域での仲間作り、健康。(運動、栄養)

(10) 情報化が担うべき役割と特に進めて欲しいと思うこと(自由回答)

問8 支え合いの社会を実現するうえで、情報化はどのような役割を担うべきか、また特に進めて欲しいと思われることがあれば、以下に記入してください。

118件

主なご意見

インターネットの利用が大幅を占めていますが、私の様に全くできない、必要性を感じないという人達もいる事は忘れてほしくありません。あだち広報のような情報誌は絶対に必要です。

情報化もしかり、何事にも良い面と悪い面があると思う。ネットワーク化に頼りすぎると、周りとのつながりがうすくなる様な気がする。行政に頼りすぎず、地域のつながりを自分達で深めていけたら良いのかとも思う。行政に“キッカケ作り”をしていってもらえたら良い。

地域社会で生きていく上で、障がいに対しての正しい知識理解が不可欠だと思います。そういった情報発信や広報を行政でも率先してやって頂けるといいと思います。

災害直後の情報は非常に重要。特に足立区内、地域ごとに被災状況は情報を集収し、携帯電話、スマートフォン等に迅速に配信して欲しい。

これから高齢化社会になり、1人で生活する人や老々介護が増えるので、その不便さを補うようなシステム作りをして欲しい。又、出来るだけ簡単な方法を考えてもらいたい。現在、在宅サービスセンターがありますが、この様な所をもっと気軽に利用出来る所があれば助かるし、良いと思います。

リアルタイムでの情報配信。必要な人への必要な情報の提供。

高齢化社会になっていく中で、老人が分かりやすく、使いやすい情報発信の方法を考えてほしい。非常に有効なものがあっても、知らない為に使えないのはもったいない。

支え合いの社会をめざすには、まず情報を簡単に見られるようにする方法を確立すべきだと思う。特に老人やパソコンのない家庭では、情報を得る手段がないと何もわからずじまい。簡単に操作できるタブレットを1人暮らしの老人などに無料貸し出しなどできるようにするほうが良いと思う。

ただ新聞に載せる、ネット上に載せるだけでなく、それについて国民の話し合いや講演会などももっと細かくあればいいと思う。そして子供関連ならば、託児ありや子連れ可でもいいので、そのニーズに合わせた場を設けてほしい。

足立区はお年寄りが多いと思いますので、インターネットなどの機器に頼るのは危険だと思います。区民に伝える方法は地区の掲示版、回覧板、広報紙なども続けて使った方が良いと思います。区民同士の交流も図れるのではないのでしょうか。

高齢者のボランティア参加の機会をどんどん発信してください。

情報化することにより、家にいても区の必要な情報が、すぐに取り出せればよい。事務的な人件費節約になればよい。ただセキュリティには十分な対策をしてほしい。

おまつりやイベント、バザーなど、街角の掲示板やブロック塀に貼ってあるポスター、学習センターや子ども家庭支援センターなどの置きチラシでしか入手できない情報が多く、タイミングよくそれを目にしないと知らないまま終わってしまう。イベント参加は地域に出る第一歩でもあるし、人の交流にもつながる。夜間でも、在宅しながらでも情報を入手できるようにしてほしい。

区の広報紙ではまかなえない、もっと地域のローカルなイベントや、出来事など、写真や動画などで紹介していく、もっと身近な区の広報エージェントとなって行って欲しい。Aメールなどで広報する情報が増えても良いのではと思う。

これからの情報源はやはりネット中心になってくると思われる。今後は様々なコミュニティ・サービス、サークル活動、近隣でのボランティア募集など、多くの情報を網羅するサイトを運営してほしい。

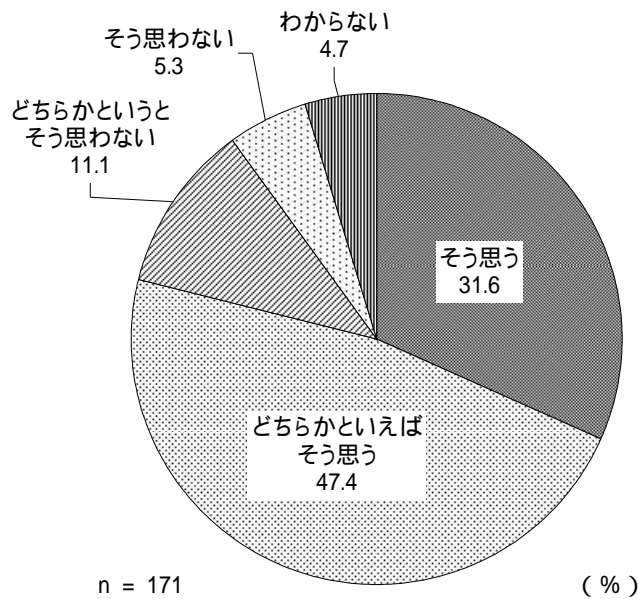
進めてほしいと思うところは、現在Aメール等で区内の情報を得る事が出来ているけれど、Aメールの存在を知らない人も多く、またメールを登録をしないといけないという点で利用していない人がいることも事実。ツイッターなどを利用したほうがより多くの区民へ情報発信出来るのではないかと思います。

現代の情報社会において、様々な情報が飛び交う中で、区政が発信するものは信頼できるものにとらえているので、区民の生活の向上や暮らしを豊かにする役割があると思います。どんな人でも、必要な情報を得られる事ができるようなシステムが必要。支え合うためのネットワーク作りに欠かせないと思う。

(11) アンケートの有効性

問9 今回のアンケートは、「情報化に関する区民ニーズや意識を把握する上で有効な内容」だと思いますか。(は1つだけ)

「そう思う」(31.6%)と「どちらかといえばそう思う」(47.4%)を合わせた『そう思う』(79.0%)はほぼ8割となっている。一方、「どちらかというと思わない」(11.1%)と「そう思わない」(5.3%)を合わせた『そう思わない』(16.4%)は1割半ばとなっている。また、「わからない」(4.7%)は1割未満となっている。



「そう思わない」と回答した方の理由 9件

主なご意見

区民ニーズを調べるのであれば、区が発信しているもの（ホームページ等）の利便性を聞いてメリットデメリットを探ってはどうか？
若者向けのアンケートで高齢者のニーズは取れないと思う。
居住人口や、住民構成からみて、アンケート参加者の絶対数が少なく、統計にならないと思います。

モニター番号 番
(必ず記入してください)

平成24年度 第2回 区政モニターアンケート

《足立区の情報化に関する意識調査》

区では、電子自治体化を推進するため、今後の目的や方向性を示した「足立区電子自治体推進計画」を平成21年度に策定し、平成22年度から平成24年度を計画期間として、区民の皆様の生活の一層の利便性向上を目指して計画を推進してきました。

本年度、現計画の計画期間の終了にともない、昨今の社会環境変化や地域の絆づくりなどへの対応を目的に、次期計画の策定を予定しております。

今回、区政モニターの皆様のご意見を次期計画の策定に活用させていただくことを目的として、皆様の率直なご意見・ご要望をお願いいたします。

足立区政策経営部 情報システム課 中央館5階

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1

電話 (3880) 5817

FAX (3880) 5616

E-mail j-system@city.adachi.tokyo.jp

【担当】 情報システム課長 秦 章雄
計画調整係長 坂野 一宏

本アンケートの質問は、全部で9問ありますが、回答内容によっては質問数が変わります。

問1は、全員がお答えください。

(問1は、問1 - 1まであります。)

あなたのご家庭にある情報機器についてお尋ねします。

問1 あなたは次の情報機器を持っていますか。(該当するもの全てに)

1. パソコン
2. タブレット端末
3. 携帯電話
4. スマートフォン
5. その他
6. 持っていない

問1 - 1 次の情報機器で購入予定の物がありますか。(該当するもの全てに)

1. パソコン
2. タブレット端末
3. 携帯電話
4. スマートフォン
5. その他
6. 購入予定はない

用語の解説

タブレット端末 : タッチパネル式ディスプレイで、携帯可能なパソコン(iPad、GALAXY TAB など)

スマートフォン : パソコンのようなデータ処理機能を持った携帯電話(iPhone、GALAXY、XPERIA など)



タブレット端末



スマートフォン

問2は、全員がお答えください。

問2 あなたは、インターネットを利用していますか。 (は1つだけ)

- 1 . 利用している
- 2 . 利用していない

問3は、問2の回答で「2 . 利用していない」と回答された方にお尋ねします。
(問2の回答で「1 . 利用している」と回答された方は、問4にお進みください。)

→**問3** あなたが、インターネットを利用しない理由についてお尋ねします。
(該当するもの全てに)

- 1 . インターネット接続料金が高いため
- 2 . パソコンなどの情報機器の購入費が高いため
- 3 . インターネットを使用するための手続や作業が面倒なため
- 4 . 個人情報やプライバシーについて不安があるため
- 5 . 特に必要性を感じないため
- 6 . その他 (_____)

問7にお進み下さい。

問4は、問2の回答で「1 . 利用している」と回答された方にお尋ねします。
(問2の回答で「2 . 利用していない」と回答された方は、問7にお進みください。)

→**問4** あなたが、インターネットを利用する際、主に使用する情報機器についてお尋ねします。
(該当するもの全てに)

- 1 . パソコン
- 2 . タブレット端末
- 3 . 携帯電話
- 4 . スマートフォン
- 5 . その他 (_____)

問5は、問2の回答で「1. 利用している」と回答された方にお尋ねします。
(問5は、問5 - 1まであります。)

→▶ **自宅または自宅外でのインターネット接続についてお尋ねします。**

問5 自宅で次のうちのどのインターネット回線を契約(利用)していますか。
(該当するもの全てに)

1. 光ファイバー
2. ADSL、ISDN
3. ケーブルテレビ
4. その他
5. 利用していない

問5 - 1 自宅外でインターネット回線を利用する頻度についてお尋ねします。
(は1つだけ)

1. ほぼ毎日利用している
2. 利用しているが、それほど頻繁では無い(月に数回程度)
3. 利用していない

用語の解説

光ファイバー : 光通信回線を使った常時接続のインターネット接続サービス

A D S L : 総合デジタル通信網の一般略称

I S D N : 電話回線を使った常時接続のインターネット接続サービス

ケーブルテレビ : ケーブルテレビ回線を使った常時接続のインターネット接続サービス

問6は、問2の回答で「1. 利用している」と回答された方にお尋ねします。

→問6 ソーシャルメディア について現在利用しているものはありますか。

(該当するもの全てに)

1. SNS
2. ブログ
3. ツイッター
4. Facebook
5. インターネット上の掲示板

用語の解説

ソーシャルメディア

ウェブ上で提供されるサービスのうち、利用者の積極的な参加によって成り立つコミュニケーションサービスのこと

SNS

ミクシィのようなソーシャルネットワーキングサイトのこと

人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のサービス。参加者からの紹介で入会できる仕組みになっていることが多い

ブログ

日々の生活記録(日記)のように、Web上に記録を更新していくウェブサイトの一種

ツイッター

一度に140文字まで短文投稿できるコミュニケーションや情報共有が可能な、無料のウェブサービス

Facebook

Facebook(フェイスブック)は、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)のひとつ

他のSNSとの違いは、Facebookを介して関わる相手は、実名で呼び合う、実際につながりのある現実の人間関係を深め合うことが期待されている

問7は、全員がお答えください。

問7 あなたが行政サービスにおいて「情報発信に特に力を入れてほしい分野」はどれですか。
(該当するもの全てに 。具体的にある場合はカッコの中に記入してください。)

- 1. 医療・介護 ()
- 2. 福祉 ()
- 3. 防災 ()
- 4. 防犯 ()
- 5. 観光 ()
- 6. 交通 ()
- 7. 産業振興 ()
- 8. 雇用 ()
- 9. 教育 ()
- 10. その他 ()
- 11. 特になし

問8は、全員がお答えください。

問8 支え合いの社会を実現するうえで、情報化はどのような役割を担うべきか、また特に進めて欲しいと思われることがあれば、以下に記入してください。

()

問9は、全員がお答えください。

問9 今回のアンケートは、「情報化に関する区民ニーズや意識を把握する上で有効な内容」だと思いますか。(は1つだけ)

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかというところそう思わない
- 4. そう思わない(理由:)
- 5. わからない

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
モニター番号が書かれているか、もう一度確認してください。

第3章 アンケート集計結果に関する所管意見

1 アンケート集計結果の今後の活用

【情報システム課】

- 足立区情報化推進計画策定にあたっての全体の方向性や、施策検討に活用する。
- 特に足立区民においても急速に普及が進むスマートフォンといった新たな携帯型の情報端末やソーシャルメディア等の活用拡大の動向を踏まえ、慎重に情報セキュリティの問題も留意しながら、特にそれらの普及が進んでいる若者向けの情報発信等、対象を絞った施策展開について検討を行う。
- 一方で、こうした新たな情報端末や媒体の利用率が低い高齢者層との情報格差にも配慮し、また、医療・介護など高齢者向け、あるいは高齢者を支える人々に向けた情報発信のあり方についても、区と区民・関係機関一体となって取り組めるよう、施策について検討を行う。
- 医療・介護分野や防災、防犯といった区民の関心の高い分野を中心に費用対効果の高いICT施策について検討を行う。

2 主な集計結果・意見・疑問等に関する説明

情報機器・インターネットの利用実態について

・本アンケート問1、問1-1、問2、問3、問4、問5、問5-1、問8の集計結果をふまえて

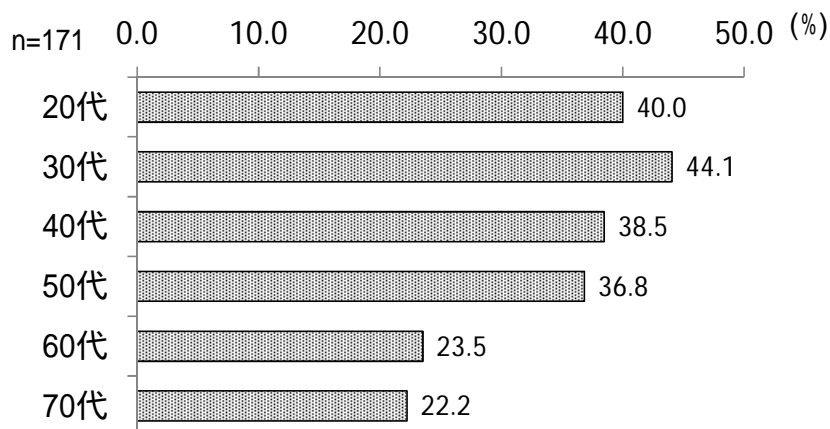
- 本アンケートで、パソコンを所有していると回答した人は86.5%であり、平成23年の総務省調査¹よりも高い割合で、幅広い世代でパソコンを使われていることが分かった。
- また、携帯電話(スマートフォン含まず)とスマートフォンの利用率はそれぞれ70.8%、スマートフォン39.2%であり、足立区においても、特に若者を中心に非常にスマートフォンの普及が進んでいることが判明した²。
- こうした情報端末の普及が進む一方で、「支え合いの社会を実現するうえで、情報化はどのような役割を担うべきか」についての意見として、情報端末やインターネット利用に不慣れな高齢者への配慮を求める意見が多く見られた。
- 今後は、こうした若年層を中心とする高機能な携帯端末の普及傾向や、最新の技術動向を踏まえ、また高齢者にも配慮しながら、足立区情報化推進計画策定等におけるICT施策に適用できるか検討し、施策見直し等を行う。

1 総務省「平成23年通信利用動向調査」

・平成23年の情報通信機器の普及状況を見ると、「携帯電話・PHS」及び「パソコン」の全年齢層平均の世帯保有率は、それぞれ94.5%、77.4%。「携帯電話・PHS」の内数である「スマートフォン」は、29.3%(前年比19.6ポイント増)であり、特に若年層(20代～30代)を中心に急速に普及が進んでいるとされた。

2 足立区におけるスマートフォンの活用

- ・ 20代(40.0%)、30代(44.1%)、40代(38.5%)、50代(36.8%)と若年層、中年層での普及が見られた一方で、60代(23.5%)、70代(22.2%)と格差が見られた。
- ・ また、インターネット利用率については、総務省の同調査の結果、全体として79.1%とされた。本アンケートの結果では、91.2%が利用していると回答され、その端末としてパソコンに次いでスマートフォンが活用されていることが分かった。



本アンケート結果による年代別スマートフォン保有率

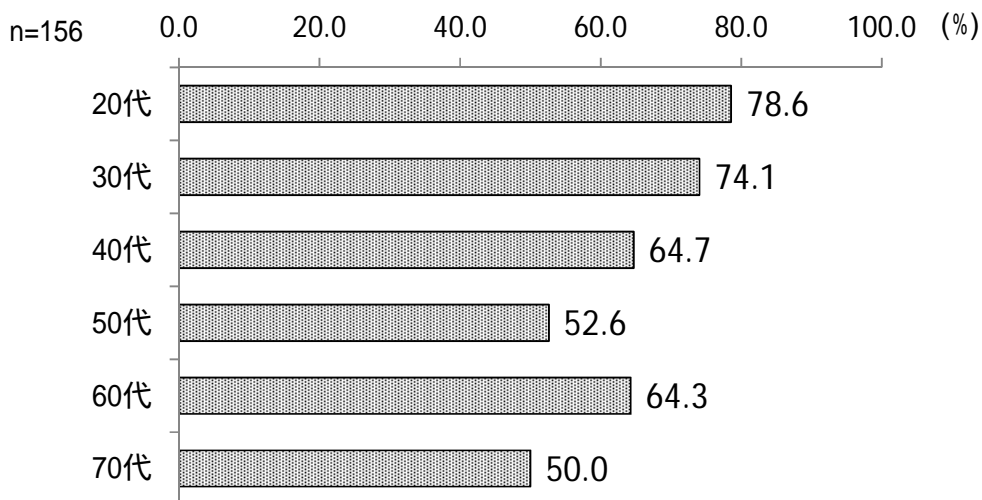
ソーシャルメディアの利用実態について

- ・ 本アンケート問6の集計結果をふまえて

- 本アンケートの結果、インターネットを利用していると回答された方々のうち、67.3%が1つまたは複数のソーシャルメディアを利用していると回答した。特に20代(78.6%)、30代(74.1%)で高い利用率が見られた³。
- ソーシャルメディアを利用されている回答者の中では、SNS(44.8%)、Facebook(38.1%)、ブログ(36.2%)、インターネット上の掲示板(35.2%)、Twitter(ツイッター)(21.9%)と平成23年の総務省調査結果⁴よりそれぞれ低い結果となった。
- 特にSNSの1つであるFacebookについては、20代(72.7%)、30代(45%)と高い利用率が見られた。SNSについては、20代(45.5%)、30代(52.5%)、40代(45.5%)と広く普及していることがわかった。さらに、Twitter(ツイッター)については、20代(36.3%)、30代(22.5%)と一定の利用が見られた。
- 全体として、区民におけるソーシャルメディアの利用率は高いが、特に若年層を中心として利用率が高い傾向があり、また年代によって利用しているサービスが異なることから、今回の結果を踏まえ、施策内容に沿った適切なターゲット層を定め、ソーシャルメディア活用方針を検討することとする。

3 足立区における年代別ソーシャルメディア利用率

- ・ インターネットを利用していると回答された方々(156名/全体171名)の中でも、20代、30代においては70%以上がソーシャルメディアを利用していると回答されるなど利用率が高いことが判明した。



本アンケート結果による年代別ソーシャルメディア利用状況

4 総務省「次世代ICT社会の実現がもたらす可能性に関する調査研究」(平成23年)

- ・ 同調査研究におけるソーシャルメディアの普及状況に関するアンケート調査の結果、42.9%が1つまたは複数のソーシャルメディアを利用していると回答した。ソーシャルメディアを利用している方々の中でも、ソーシャルネットワークサービス (mixi、Facebookなど。以下、SNS) (75.2%)、ブログ(54.8%)、Twitter(ツイッター)(50.0%)の利用が進んでいることが判明した。
- ・ ただし、ソーシャルメディアの利用率は、若年層(10代は71.7%)と高齢層(60代以上は22.3%)で大きな格差があることも明らかになった。

行政サービスにおいて「情報発信に特に力を入れてほしい分野」について

・ 本アンケート問7の集計結果をふまえて

- 「医療・介護」(59.6%)が最も要望が高いという結果になった。自由記述として、医療機関・施設の情報に関する要望、高齢化に関する視点及び子育ての視点での関心が示された。次いで「防災」(49.1%)、「防犯」(46.2%)、「教育」(43.3%)、「福祉」(35.7%)などが続いた。
- 今後、特にこうした区民要望を踏まえ、要望の高い分野を中心に費用対効果の高い施策を中心に今後施策の具体化を行なう。